

2020年3月期 決算説明資料

極東開発工業株式会社



極東開発のグループ構成

極東開発工業株式会社

特装車事業

84.5%

■ 製造・販売・サービス

日本トレクス㈱
北陸重機工業株式会社㈱
極東開発(昆山)機械有限公司 (中国)
MITHRA KYOKUTO SPV CO., PVT. LTD. (インド)
PT KYOKUTO INDOMOBIL MANUFACTURING INDONESIA (インドネシア)
PT KYOKUTO INDOMOBIL DISTRIBUTOR INDONESIA (インドネシア)

■ サービス

㈱エフ・イ・テック
振興自動車㈱
井上自動車工業㈱

■ 中古車販売

㈱FE-ONE

■ 関連

極東特装車貿易(上海)有限公司 (中国)

環境事業

9.5%

■ リサイクル施設の建設/運転受託・メンテナンス

極東サービスエンジニアリング㈱
極東サービスエンジニアリング北海道㈱
㈱モリプラント
㈱エコファシリティ船橋

不動産賃貸等事業

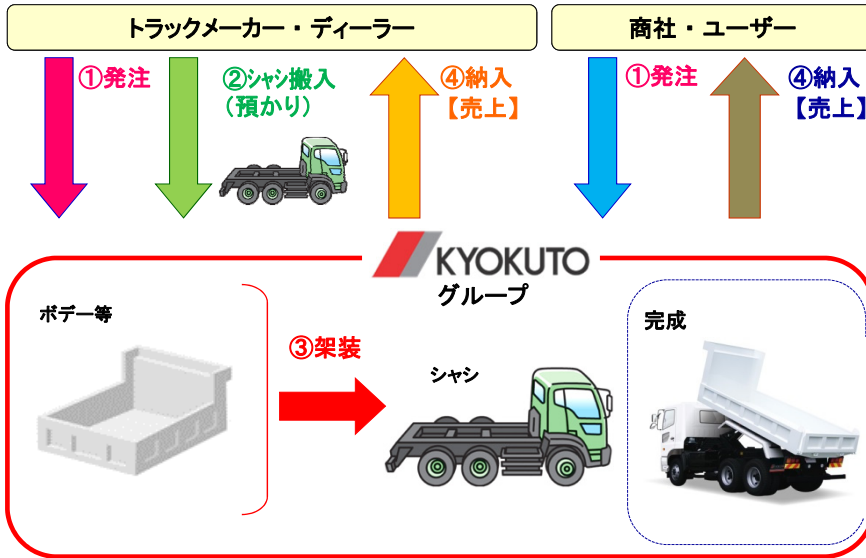
6%

■ 立体駐車装置、コインパーキング

極東開発パーキング㈱
㈱エフ・イー
ささしまライブパーキング㈱

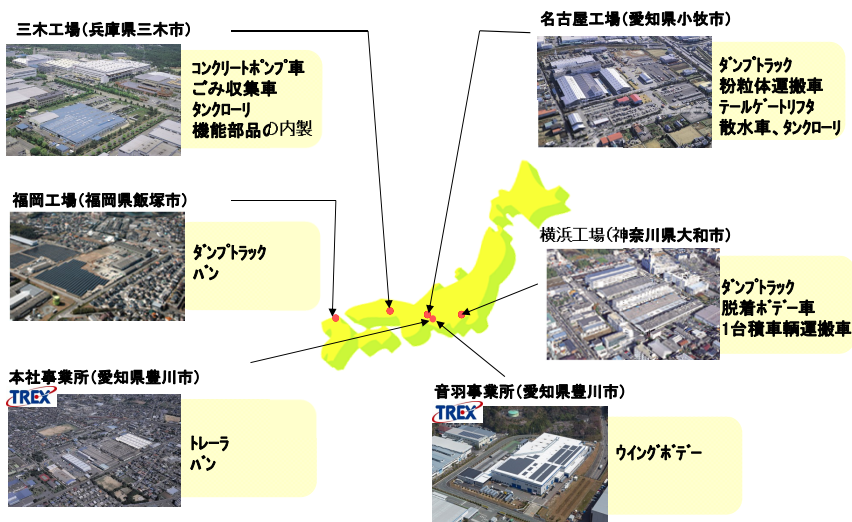
<比率は売上構成比(2020年3月期)>

特装車事業



コンクリートポンプ車等一部の製品についてはシャシは買取。

国内生産体制



グループ主力製品

KYOKUTO



コンクリートポンプ車



粉粒体運搬車



トレーラ



1台積車輛運搬車



タンクローリ・散水車



テールゲートリフト



ダンプトラック



脱着ボデー車



ごみ収集車



ウイングボデー車

5

海外生産体制

KYOKUTO

【インド】MITHRA KYOKUTO SPV CO., PVT. LTD.



ダンプトラック
ミキサートラック

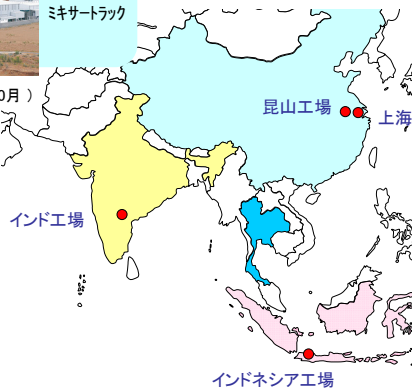
(操業開始: 2012年10月)

【中国】極東開発(昆山)機械有限公司



ミキサートラック

(操業開始: 2005年4月)



昆山工場 上海

インド工場

インドネシア工場

【インドネシア】PT KYOKUTO INDOMOBIL
MANUFACTURING INDONESIA

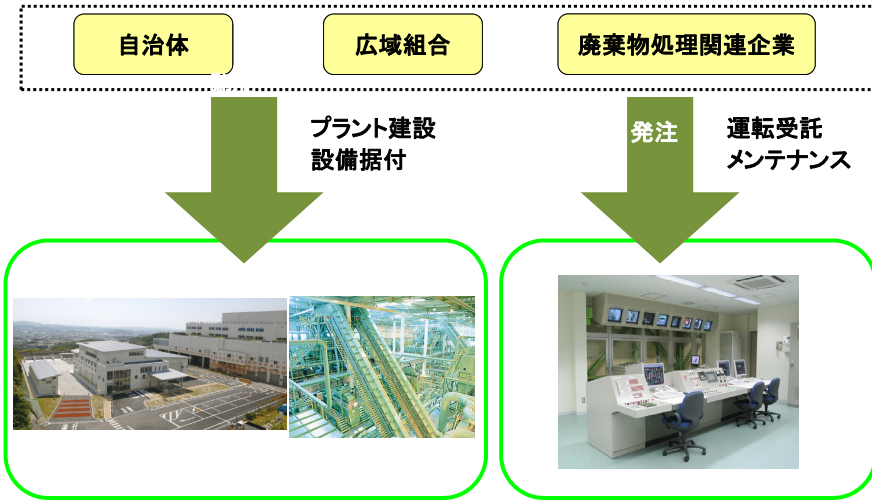


ダンプトラック
ミキサートラック
テールゲートリフト

(操業開始: 2014年2月)

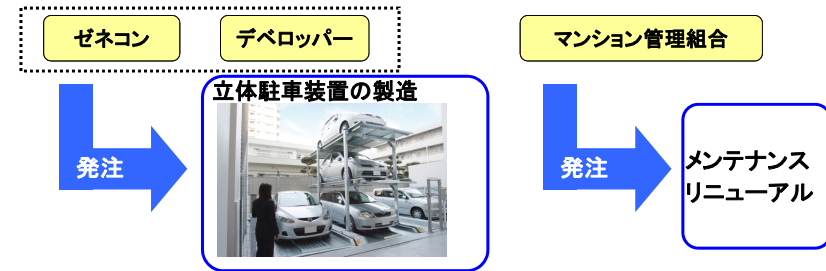
6

環境事業

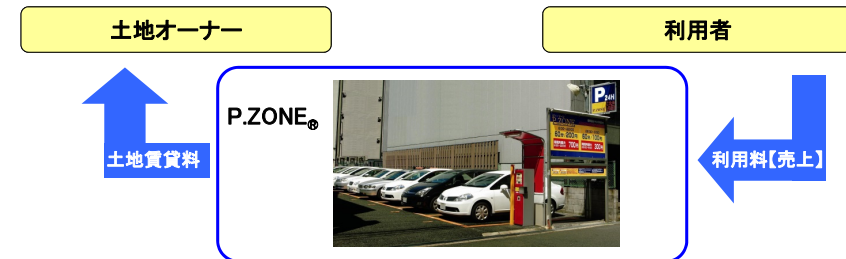


不動産賃貸等事業

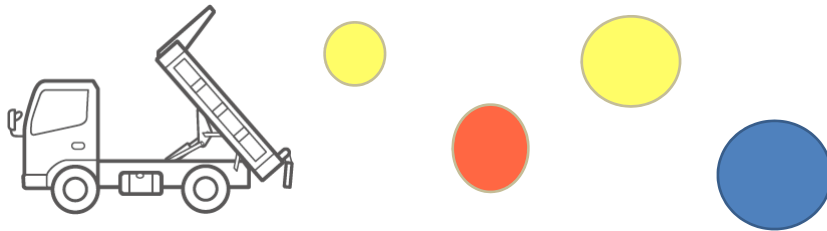
【立体駐車装置】



【時間貸駐車場】

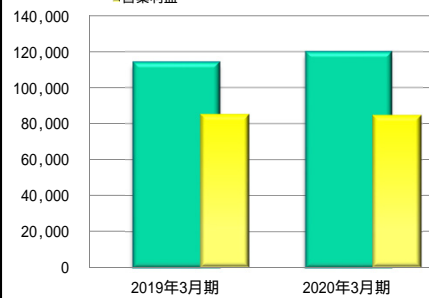


2020年3月期 連結決算実績



2020年3月期 連結決算

売上高(百万円) ■売上高
営業利益 ■営業利益



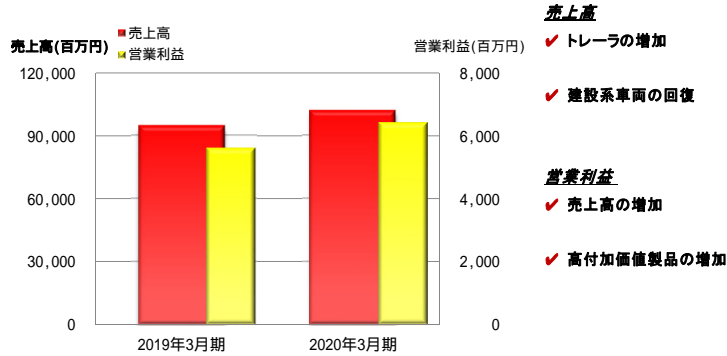
営業利益(百万円)

売上高(前年比)		
✓特装車事業	+7.6%	+7,187百万円
✓環境事業	△11.4%	△1,479百万円
✓不動産賃貸等事業	+2.2%	+153百万円
営業利益(前年比)		
✓特装車事業	+14.3%	+802百万円
✓環境事業	△29.7%	△767百万円
✓不動産賃貸等事業	△1.6%	△18百万円
営業外収益・費用		
✓営業外収益		572百万円
✓営業外費用		390百万円

	2019年3月期	2020年3月期	前年同期比増減	
売上高	114,301	120,173	+5,872	+5.1%
営業利益	8,554	8,493	△60	△0.7%
経常利益	8,817	8,675	△142	△1.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,284	6,073	△211	△3.4%

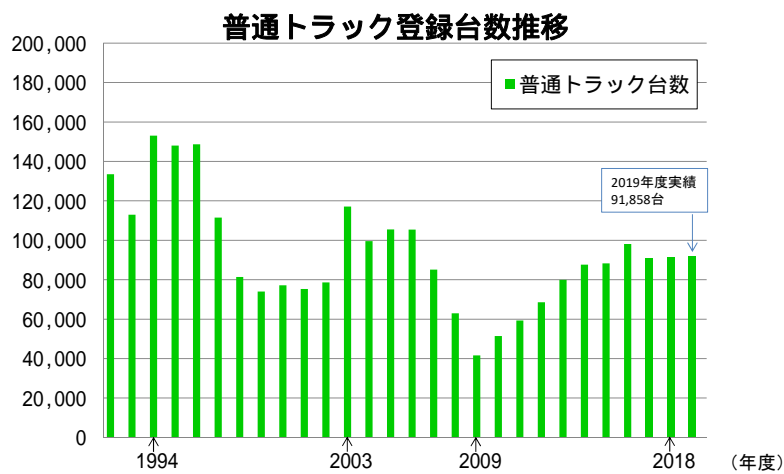
特別利益・損失	
✓特別利益	736百万円
✓特別損失	712百万円
親会社株主に帰属する当期純利益(前年比)	
✓法人税等	△365百万円

2020年3月期 特装車事業

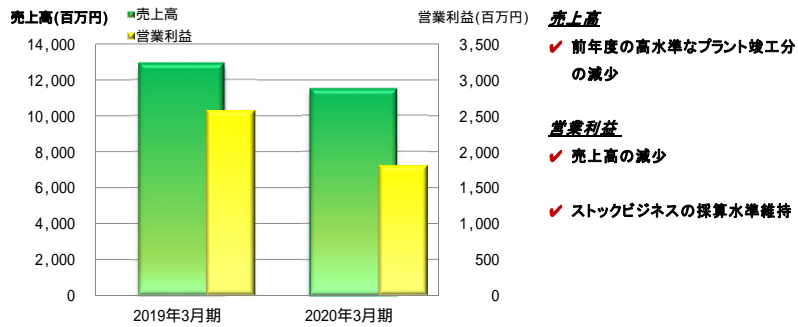


	2019年3月期	2020年3月期	前年同期比増減	
売上高	94,888	102,076	+7,187	+7.6%
営業利益	5,615	6,417	+802	+14.3%

2020年3月期 特装車事業(市場環境)



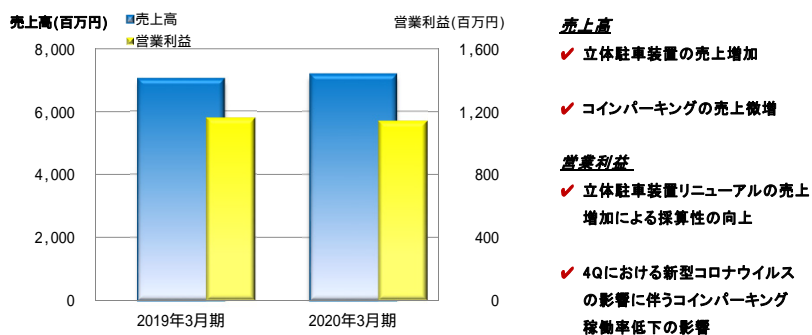
2020年3月期 環境事業



	2019年3月期	2020年3月期	前年同期比増減	
売上高	12,952	11,473	△1,479	△11.4%
営業利益	2,581	1,813	△767	△29.7%

13

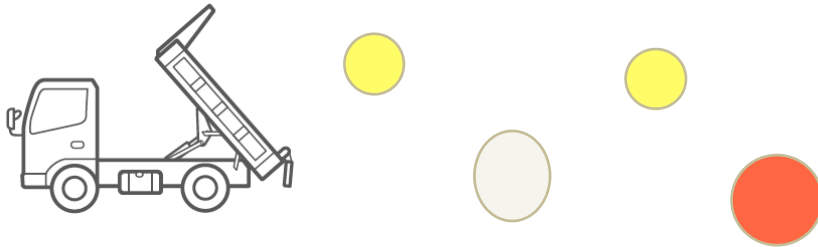
2020年3月期 不動産賃貸等事業



	2019年3月期	2020年3月期	前年同期比増減	
売上高	7,035	7,189	+153	+2.2%
営業利益	1,161	1,142	△18	△1.6%

14

2021年3月期 連結業績予想について

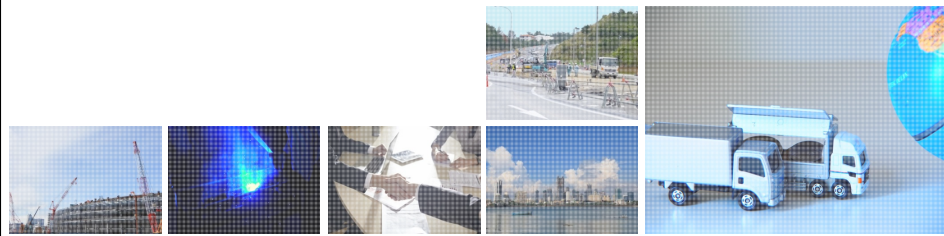


2021年3月期 連結業績予想について

2021年3月期の通期の連結業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大により見込まれる影響度合いについて現時点では予測できず、合理的な算定が困難であるため未定としております。

➡ 今後予想が可能となった時点で速やかに開示させていただきます。

今後の取り組み



生産性の向上と利益体質の強化 ～設備投資効果の最大化

前中計までに実施した設備投資の運用と新たな設備投資により
売上の拡大・生産性向上を図る



生産性の向上と利益体質の強化 ～IoT・AI等の活用

IoT・AI等の活用を積極的に進め、
製品・サービスの付加価値向上と社内業務の効率化・自動化を推進する

IoT・センシング
⇒見える化・データ化



AI
⇒画像認識・自然言語処理
音声認識・予知予測



製品・サービスの付加価値向上



作業効率や操作性・安全性の向上
サービス支援(K-DaSS)

社内業務の効率化・自動化



スマートデバイス
・音声認識の活用

RPAの導入
(間接業務の効率化)

現場作業の
効率化・自動化

将来の収益源の創出 ～海外事業の収益基盤確立

海外経済の先行きが不透明さを増す中、収益基盤確立に向けてリソースを投入
日本・中国を含めてグループで連携したクロスボーダーな事業展開を推進

海外拠点

✓ 売上拡大から収益基盤確立へ
パラダイムシフト

インドネシア工場 (Kyokuto Indomobil)

- ダンプ・ミキサーの安定受注確保
- サービス体制の確立

インド工場

- ダンプOEM生産量を向上 (VOLVO向け拡大、他メーカーへ展開)
- コストバランスの適正化



中国(昆山)



インドネシア



インド

輸出・グループ支援

✓ 国境を越えてグループ間で
連携・役割分担することで
全体最適化を図る

極東開発工業(日本)

- 輸出货量ダンプの受注拡大
- ユニット販売の促進
- 販売店増設(アジア・中近東)
- 新規海外専用機種の開発

昆山工場 极东开发(昆山)机械有限公司

- ミキサー マザー工場
- 日本向け部品拡大

極東特装車貿易(上海)

- 日本向け新規製品の開拓と
原価低減

将来の収益源の創出 ～新分野の事業確立

グループの強みを活かせる既存事業周辺・応用領域にターゲットを絞り、事業成長に注力
成長を加速させるため、M&A・提携も積極検討



企業品質の向上と社会的価値の深化 ～社会貢献の推進

転換期を迎える社会の中、事業活動を通じて社会課題に取り組むことで
企業としての持続的成長性・付加価値向上につなげる

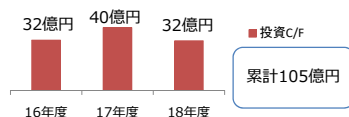
社会課題	当社グループの取組み内容	SDGsアイコン
人手不足の深刻化 女性・高齢者の労働参画	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 積載量の向上、トレーラー化 (輸送・作業の効率化) ▶ 操作性・安全性の向上 ▶ 省力化製品の提供 ▶ 健康経営の推進 ▶ 女性が活躍できる環境整備 	
社会インフラ老朽化 自然災害の多発	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 各種特装製品の提供 ▶ 生産能力の向上・柔軟化 ▶ BCPの推進 	
脱炭素化・循環型社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 環境事業の推進 (リサイクル、バイオガス等) ▶ 製品の省エネ化・電動化 ▶ 環境負荷物質の低減 ▶ 太陽光発電事業 ▶ 環境マネジメントのグループ拡充 	
製造業の空洞化 持続可能なものづくり	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ものづくりの技能伝承 ▶ 工場見学・インターンシップの実施 ▶ 持続可能な調達の推進 	

設備投資額・減価償却費・研究開発費

創出したキャッシュフローは持続的成長に向けた設備投資・戦略投資に積極活用

設備投資・戦略投資
3カ年累計 200~300億円

(参考) 2016~18年度の実績



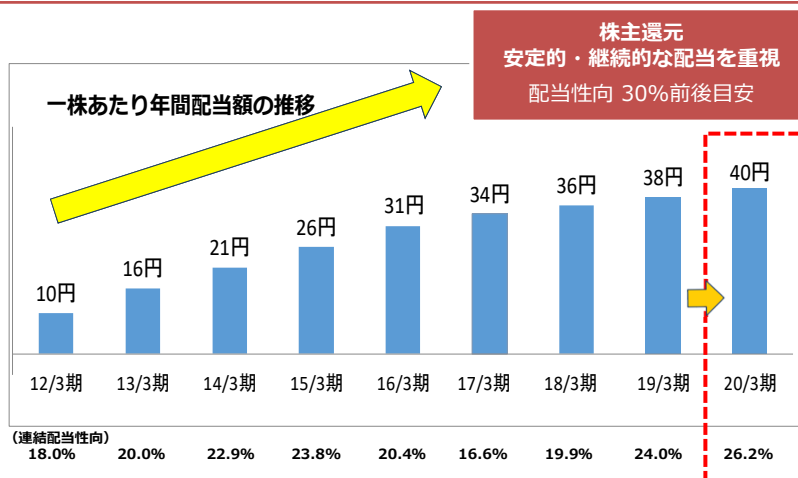
	2020.3期 実績
設備投資	39億円
減価償却費	25億円
研究開発費	14億円

※ 2021年3月期の予想につきましては、**新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響を精査の上、現在策定中です。**

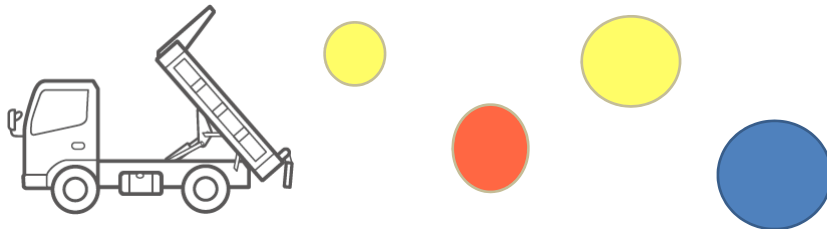
配当政策

配当に関する基本方針

当社グループでは、株主還元を経営の最重要政策の一つと考え、業績の向上と財務体質の強化をはかりながら、将来の事業展開、経済情勢等を勘案して、株主の皆様のご期待にお応えできるよう努めています。



TOPICS



TOPICS① 北陸重機製ディーゼル機関車をコンゴ民主共和国に納入

- ・2018年5月にグループ化(2019年度より連結子会社化)した北陸重機工業(新潟市)が製造したディーゼル機関車をコンゴ民主共和国に納入。
- ・日本政府とコンゴ民主共和国政府間でのODA 供与合意に基づき、同国の運輸港湾公社(SCTP)へ供給。
- ・首都キンシャサから港町であるマタディ間の355kmで客車を牽引する車両として使用。

➡ 海外におけるODA案件等で需要の高まる「はたらく鉄道車両」分野の強化を図る。



【スペック】
 全長 : 15m
 重量 : 72t
 エンジン出力: 1,400 馬力

・塵芥車による収集作業には積込装置に人が巻き込まれるリスクが伴い、重大事故につながることもあるため、安全対策が課題に。

2020年度内発売予定

・作業現場のカメラ映像から危険状態を判定することでこの問題を解決した安全装置を開発。

・最先端の画像認識AIにより人物を高精度で検出することが可能。

➡ 「KIES」の技術を広く応用し、
特装車の安全性向上に
取り組む。



本資料の予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。本資料の著作権は極東開発工業株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く本資料を複製・配布することを禁止します。